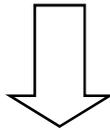


バルブクリアランス調整について

実際の修理からの事例をご紹介します。

RV125EFI(走行距離20000km)
エンジンの始動は問題無いが頻繁にエンストしてしまう。
EFIの故障コードも無く、インジェクターの噴射状態も悪くないが、
データストリーム画面でエアバイパスバルブの開度が300近く、
インジェクターの開弁時間も5ms以上で基準値を超えてしまう。
スロットルボディ、エアバイパスバルブの清掃をしても改善しない



バルブクリアランスを基準値の広い側で調整して解消

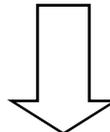
(基準値 : IN/EX 0.12mm±0.02mm)

0.14mmに調整

エアバイパス開度も160

インジェクションタイムも3.6msに減少

X'pro100(走行距離16000km)
始動性は問題無いがオートチョークが切れるとエンストしてしまう。
また、走行後に信号待等でアイドリングしているとエンストする。
点火系、キャブレターも交換してみたが変化がなかった。
バルブクリアランスは0.1mmで基準値内であった



バルブクリアランスを0.14mmに調整して解消

(基準値 : 0.12mm±0.02mm)

以上の事例から

- ・バルブクリアランスの調整は6000km毎に調整
- ・調整時は基準値内で広い側基準で合わせる